

# やる気発生装置

## 平成の名横綱と、令和の働き方

元横綱の曙太郎さんが亡くなったというニュース、はじめ報じられるサイトが限られていたので目を疑いました。2001年には引退されていますので、いま当塾の生徒さんには、すでに力士としての曙をリアルで知る人はいないわけですが、若乃花・貴乃花といった横綱がいて、相撲界が今よりもいっそう活気あった頃、その中にあって一時代を築いた人です。相撲を引退後は格闘技に転向し、大晦日にボブ・サップとの伝説の対決を演じた人でもあります。7年間におよぶ闘病生活をへて、54歳でその生涯を閉じられたとのことでした。

力士というのは50代、60代までに亡くなる方が非常に多く、職業が寿命に直結している現代では数少ない世界だと思います。力士ならではの特別な体を作り維持するために特殊な食生活をされているはずですし、その体型が内臓などに大きな負担をかけているのは間違いないでしょう。まさに命を削って成し遂げる道だといえます。最近の働き方改革の発想から言えば、仕事のために命を削るなどけしからん、という事にもなりそうですし、ひょっとしたら力士の世界でも体重や食生活の制限、といったことが出てくるかも知れません。力士でもサラリーマンでもなんであれ、仕事ができるのも命あってのことですから、命や健康を大切にすべきことは当然です。ただ、「命を大切にする＝1日でも長く生きること」だというのもまた違うような気がしますね。人生の一部分だけを仕事に使い、労働者として守られながら、自分の生活を大切に生きて、引退後は年金をもらって長生きする。そんな生き方で幸せを得る道もあるとは思いますが、命を削ってでも取り組み、なすとげたい仕事や課題を見つけてそれに没頭する人生を送る人がいるなら、そのほうが充実しているのではないかという気がします。ワークライフバランスをかえりみない、令和に合わない価値観だと言われそうですけどね。

塾の先生はどうなのでしょう。いろいろなスタイルの方がいる業界ですので一概にはいえませんが、あまり健康的な生活してなさそうな方も多いですし、かと思えばかなりのお歳になっても体を鍛えて健康そのものの方もいらっしゃいます。当塾で学ぶ若い人達には命を大切にしてもらいたいですね。やがて僕が世を去る時、僕が関わった生徒さんたちはみんな生きてほしい、順番からしてそれは切に思っています。



平成を代表する横綱の一人である曙の早すぎる死、買い求めた新聞では1面トップの扱いでした。ただご冥福を祈るばかりです。



自然界は、桜から新緑へと季節を移していきます。さて人間はどう生きるべきか。生活を損なわない働き方も大事ですが、命を削っても打ち込みたい何かを見つけることができれば、それはきっと幸せな人生なのだと感じますね。

### 当面の教室予定

**4/12(金)**

16:00~22:00

**4/13(土)**

お休みです m(\_ \_)m

**4/14(日)**

16:00~21:00

**4/15(月)~4/19(金)**

16:00~22:00

※21時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させていただきます。

※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。